



まつもと じゅん

松本純

中区・磯子区・金沢区
まちかど
政治瓦版



平成20年5月1日号
発行 かながわ1区支部
編集長 平木 茂

5月号
2008年
No.63

松本純ホームページ 毎日更新中！ [http:// www.jun.or.jp](http://www.jun.or.jp) ▶ 検索キーワード「松本純」

頑張ってきた世代に「安心できる医療」を！ 長寿医療制度がわからない—という方に

4月にスタートした長寿医療制度（後期高齢者医療制度）が混乱を招いています。最大の問題は、「仕組みがよくわからない」という声が多いということです。試しに厚生労働省のホームページを検索してみました。ウン？ 確かによくわかりません。そこで、制度が適用される方々の立場に立って、私なりの説明をしてみます。



新制度が適用されるのは75歳以上の人です。

全国で約1,300万人おられます。それまで加入していた国民健康保険や健康保険から、新たに設立された神奈川県広域連合が運営する保険に加入します。病院の窓口で支払う医療費の自己負担は1割（現役なみの所得のある方は3割）で、これは従来の保険と変わりません。

多くの皆さんが心配されているのは、「では月々どのくらいの保険料を払うのか」ということだと思います。保険料はその収入によって個人ごとに違いますが、厚労省の資料によると、神奈川県の平均年額は92,750円（月額7,730円）です。制度のスタートを前に、与党が追加的な措置をとったので、実際はこれより低くなると思いますが、全国平均よりはやや高めです。

この保険料が従来の保険に比べて負担増になるのかどうか？ これもご心配の点だと思います。厚労省では「一人暮らしの方は年金の収入金額にかかわらず負担増にはならない。夫婦二人の場合でも、年金収入が520万円程度までの世帯では負担増にならない」と説明しています。保険料は1カ月おきに皆さんが受け取る年金から天引きされます。年金額が少なく、生活にお困りの方は、市町の納付相談窓口にご相談ください。

長寿医療制度は、増え続ける高齢者医療費に対応するもので、従来の保険では現役世代の費用負担が不明確という声にも応えたものです。それがこれほどの混乱を生んだのは、先に「年金不信」に陥られた世代が、今度はわけもわからないまま新しい保険制度に移行させられたからでしょう。これまで、保険を通じて両親の世代の医療を懸命に支えてこられた方々が、いざ自分がその年齢に達したら安心して医療を受けられない、というようなことがあってはなりません。

●おことわり まちかど政治瓦版の投函に関して先日、苦情の電話をいただきました。瓦版は多くの皆さんに、松本純の政治活動と意見を伝えるために直接お届けしています。しかし、「必要ない」という方のご住所を教えてくださいましたらポストへの投函を取りやめますので、その旨ご連絡ください。

平成20年
【4月3日(木)】

- 正午 ●為公会例会
- 午後0時45分 ●代議士会
- 午後1時 ●本会議
- 午後3時 ●「福田提案を支持し道路特定財源の一般財源化を実現する会」設立総会

【4月15日(火)】

- 午前8時 ●第12回日本医療懇談会
- 午前9時30分 ●役員連絡会
- 午前10時 ●副幹事長会議
●米国国務省日本語研修所国会見学
- 正午 ●社会保障制度調査会医療委員会・
高齢者特別委員会合同会議
- 午後0時45分 ●代議士会
- 午後1時 ●本会議
- 午後6時30分 ●総務部会懇談会

【4月21日(月)】

- 午前7時 ●第45回早朝駅頭演説会(根岸駅)
- 午前9時 ●地元事務所秘書ミーティング
- 午後1時 ●第8回ライフサイエンス・サミット
- 午後6時 ●第8回ライフサイエンス・サミット
懇親会
- 午後7時30分 ●第16回太郎会

松本議員の国会レポート⑤

福田首相は道路特定財源の一般財源化を「平成21年度から実施する」という提案を行いました。これはもともと野党が強く求めていたものですが、ガソリンの暫定税率問題などのからみで野党との協議が進んでいません。そこで組織されたのが「実現する会」です。私たちは福田首相の英断を支持し、道路特定財源の一般財源化だけでなく、道路関連公益法人の無駄の徹底的な排除や「10年間で59兆円」という道路整備中期計画の抜本的な見直しの実現を図ります。

横浜・山手にある米国国務省日本語研修所の皆さん14人が国会見学にられました。同研修所とは、教官の市川智子さんに「いつも瓦版を読んでいますよ」と声をかけられ、昨年5月に講演したことがきっかけでご縁ができました。研修所で学んでいるのは全員が外交官です。スケジュールの関係で、すべてを私でご案内することはできませんでしたが、さすがは日米関係のキーマンとなる皆さん、さまざまな質問が飛び出して、その熱心さには感心させられました。

緊張の一日でした。ライフサイエンス・サミットは、医薬品分野におけるイノベーションを促進するための制度改革と環境・エネルギー問題の解決に向けたバイオテクノロジーの可能性を探るために政界・官界・学界・産業界の衆智を結集しようという集まりです。今回はライフサイエンス推進議員連盟の治験体制改革特別委員会事務局長を務める私に司会の大役が回ってきました。今回は特に米国のシーファー駐日大使が基調講演を行うなど意義深い大会となりました。



▲3/29 称名寺でお花見を楽しんでいた金沢区谷津の皆さんと



▲4/11「為公会と語る夕べ」に歌手の五木ひろしさんと堀内孝雄さんが!



▲4/14県理容生活衛生同業組合の金沢支部の定期総会の懇親会で(箱根)



▲4/19「ヨコハマ大道芸」で大盛況だった吉田町名店街にて

永田町日記 「蘇れ、商店街！」あきんど議連が始動

全国で続出する元気のない商店街、その現状を打破するために、自民党の「商店街を蘇らせる行動政策研究会」(通称・あきんど議連)が3月25日に設立されました。衆参両院議員85人が参加し、会長に、ご自身が和菓子店を経営し成長させてきた経験をもつ中野清さんが就任、私は副会長としてお手伝いすることになりました。幹事長に就任したのは、「郵政選挙」で早稲田商店会長から政界入りされた、あの安井潤一郎さんです。設立趣意書に「商店街が衰退する大きな原因の一つは、個々の商店が本当に顧客のニーズに答えていないから」とあります。郊外型大型ショッピングセンターができたから、景気が悪いから、まして時代のせいにはしないーという言葉もあります。商店街が元気を失うことは、地域社会、つまり街の崩壊につながります。あきんど議連は、商店街を蘇らせる行動部隊です。多くの方々アドバイスを心得、商店街を引っ張るリーダー個店への積極支援や研究成果を国の政策に反映させる活動を積極的に行っていきます。(純)

まつもとじゅん プロフィール▶昭和25年4月11日、横浜市中区生まれ▶本町小、聖光学院中・高、東京薬科大卒、薬剤師▶本町小PTA会長、横浜JC専務理事、野毛大道芸実行委員長など街づくりや地域活動に取り組む▶平成2年～横浜市議(3期)▶平成8年～衆議院総選挙で初当選。専門を生かし医療・福祉・年金などに全力投球。介護保険制度を創設した責任者の一人▶平成12年～総選挙で次点落選▶平成15年～衆議院2期目。総務大臣政務官に就任。▶平成17年～衆議院3期目。総務大臣政務官に再任。三位一体改革、行財政改革など新しい日本の国をの形をつくるため奮闘。▶平成7年11月～議院運営委員会理事、国会対策委員会副委員長として国会運営等に取り組む。▶平成18年9月～安倍内閣で自民党副幹事長に▶平成19年6月～自民党横浜市連会長▶平成19年8月～安倍改造内閣で自民党副幹事長に再任。▶平成19年9月～福田内閣で自民党副幹事長に留任。